

大正2年 (1913)

文部省学校体操教授細目を制定。

兵式体操を教練と改称 (1・28)

小学校令を改正, 学校の通俗教育使用を認める
(2・6)

全校生徒蝶虫卵塊採集 (6月17~7月3日まで)

小学校令を改正教員の免許状を府県で授与し,
全国一本化 (7・16)

天長節祝賀式, 旗行列, 提灯行列に参加

大正3年 (1914)

各地区へ出張学芸会保護者会, 長全寺, 水谷,
三津作方, 鳥居為作方, 金光寺(2)

第一次世界大戦参加 (8・23)

大正4年 (1915)

青年会各町ごとに学校に植樹

鉄棒, 廻旋塔, 大鏡, 雲梯を備える(10)

御大典祝賀式・提灯行列(1)

大正5年 (1916)

御大典記念植樹, 八幡社, 八剣社, 素蓋鳴社,
浄慈院, 宝形院, 長全寺に樟, 公孫木 (3・3
1)

米人スミス氏飛行, 18連隊兵場に観覧する (5
・5)

文部省に学校衛生官を置く——この頃から学校
衛生事項が重視されるようになる (6・15)

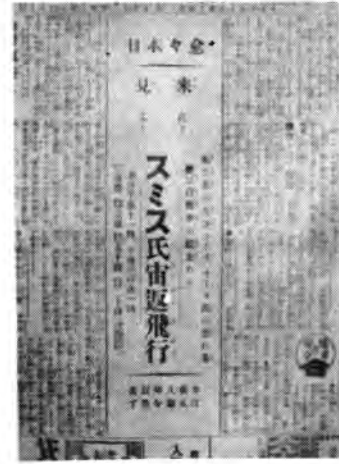
大正6年 (1917)

文部省, 臨時教育会議を経て小学校教育の改善
をきめる(6)

小学校教員身体検査実施する (11・5)

第1回全国小学校女教員大会 (10・20)

大正デモクラシーと教育



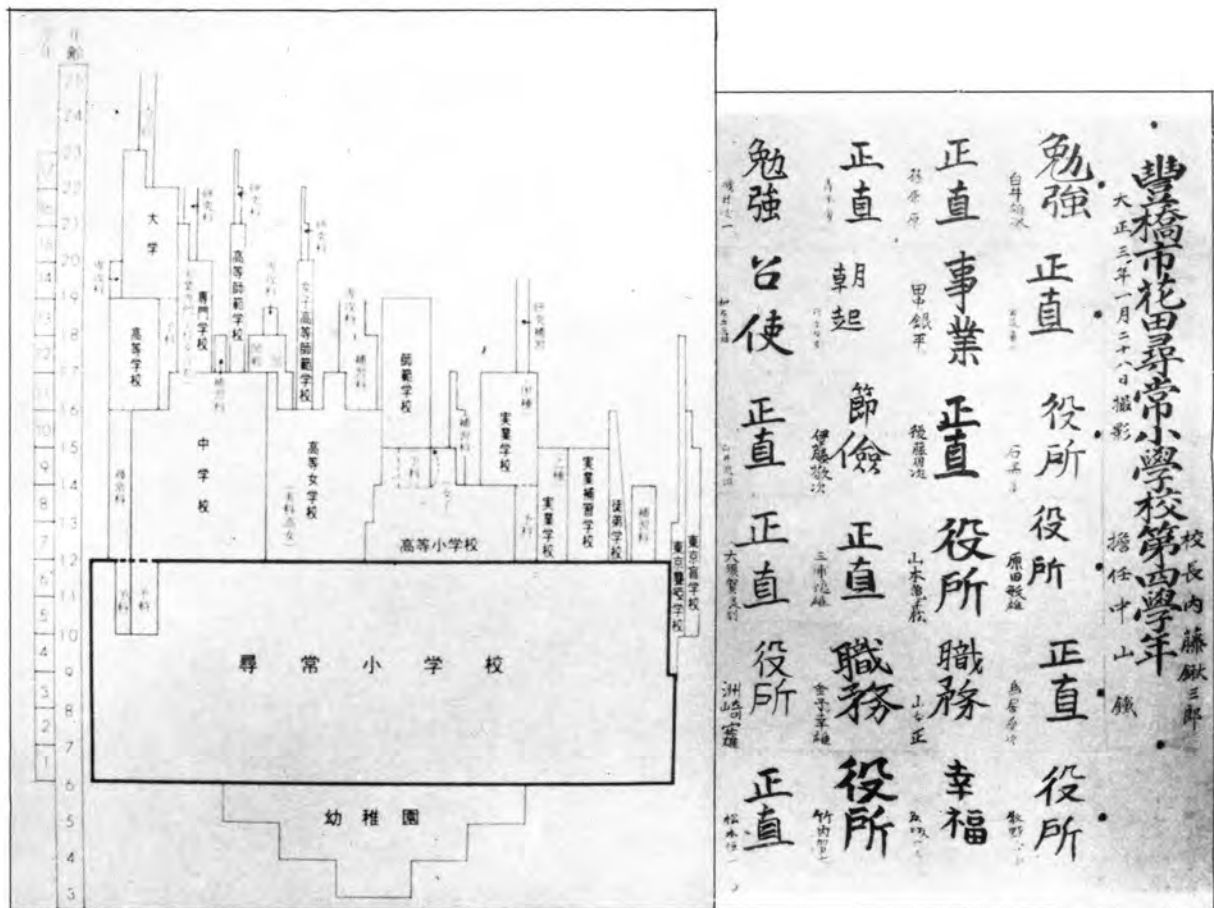
(新朝報 大5. 5. 5)

国定方三期本 —— 大正7年



国定二期本に修正を加えたもので, 内容に大きな変化はなかった。

学校制度図 (大正8年)



大正6年ごろの校舎，正門（現西門附近）

祝祭日儀式の確立

明治21年10月 新年、紀元節、天長節の「祝賀式要領」訓令。

一同着席、敬礼、(職員一同生徒ノ前列ニ整列)

供物、神酒、鏡餅、饅頭(校長〈首席訓導〉コレヲ供フ)

祝詞()コレヲ読ム)

職員拝賀(玉串ヲ奉リ神酒ヲ受ク)

級長拝賀(同)

職員祝辞及演説

唱歌 紀元節、君が代

生徒へ饅頭1ヶ宛与フ

一同敬礼 退場

明治24年6月 「小学校祝日大祭日儀式規程」
の制定。

明治25年7月 「小学校祝日大祭日儀式ニ関ス
ル次第」制定。

一同敬礼

開扉(天皇皇后陛下の御真影を奉置する)

君が代

御影奉拝

刺語奉読

学校長訓告

式歌

閉扉

一同敬礼(祝菓を賜う)

明治20年代から始まった祝祭日儀式は、昭和20年
まで続いた。はじめは神道的色彩が強かったが、後
に御大典・戦勝等のお祝いには、儀式と共に、旗行
列・提灯行列・花火・記
念植樹等が盛んに行われ
学校生徒は必ず参画した。

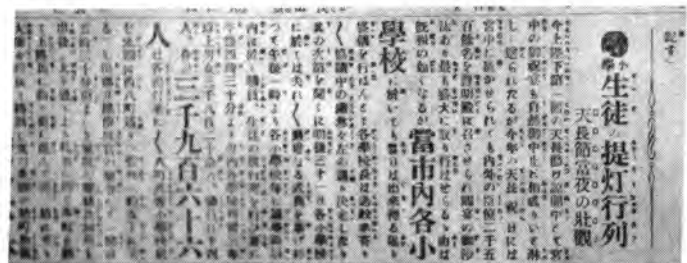


御大典記念植樹の楠

—— 浄慈院境内 ——



御真影と勅語(昭3・10・20)



新朝報(大2, 10, 31)

大正時代

(1912⇨1926)

「ポンチ絵」から現在の「吹きだし漫画」に変わる時期。岡本一平など美術学校出身者が活やくした。



「珍助絵物語」

大正6年 岡本一平



「ヌー坊とテー坊」

大正末期 池部 鈞

大正末期の子どもの読みもの



昭和初期のマンガ本

大正7年(1918)

ハナ、ハト、マメ、マス、国定第三期教科書使用(3)

帝国飛行協会台覧飛行陪観 豊橋練兵場(6・5)

米価暴騰し富山県下に米騒動起こる(7・23)以後全国に波及、豊橋にも8月に。

この年10月から翌年にかけてスペインかぜ大流行。

小学校の理科の始期を1年早める。
流行性感冒流行し臨時休業12日間(11・1)

大正8年(1919)

中学校令施行規則を改正小学校第5学年終了者の入学を認める(3・29)

皇太子御成年奉祝祝賀式(5・7)

平和回復祝賀式(7・1)

市民連合運動会に総合優勝(11・2)

大正9年(1920)

雛飾り 端午の節句会、時の記念日等の行事学校で行なう

市制15周年記念祭(9・20)

第1回国勢調査。豊橋の人口 6,3096人(10)

大正10年(1921)

女子部同窓会総会(2)

皇太子外遊帰朝奉祝提灯行列(9・3)

豊橋市松葉小学校、校舎を花田町宇守下に新築移転する。

児童数激増のため、木造二階建校舎6教室を新築する。

大正11年(1922)

第二師範主催、東海小学児童相模大会で優勝(5・14)

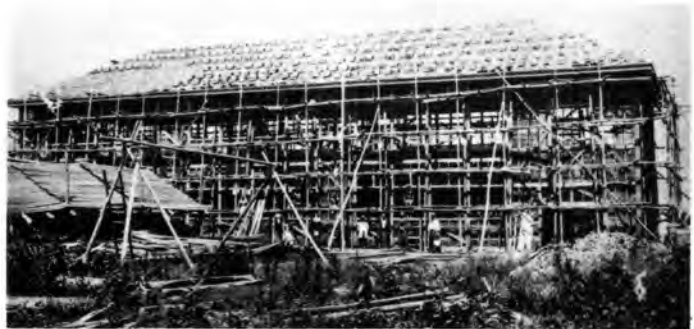
学制頒布50周年記念式挙行(10)

豊橋市小学校国語研究会編、月刊雑誌「若草」創刊。

新川小学校の講堂を移築して講堂とする(1)



—新朝報 大7. 8. 14—



校舎増築中(大10. 8) 二階建6教室



大正11年(牟呂用水向校舎前はまだ畑であった。)

大正末期の進学状況

		卒業生累年成績表					
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	途中入學
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	卒業
		男	女	男	女	男	女
計	男	三五	四〇	四八	四九	四七	四五
	女	三五	四〇	四八	四九	四七	四五
計	男	八五	八八	八九	九三	八三	八二
	女	八五	八八	八九	九三	八三	八二
計	男	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
	女	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇

		本學年度末學業成績一覽表					
		一年	二年	三年	四年	五年	六年
		男	女	男	女	男	女
在籍數	男	七三	七五	六六	六二	四九	五〇
	女	七三	七五	六六	六二	四九	五〇
合格者	男	七三	七五	六六	六二	四九	五〇
	女	七三	七五	六六	六二	四九	五〇
原級二留ル者	男	七	八	六	六	五	六
	女	七	八	六	六	五	六
受等賞ヲ受クル者	男	一	一	一	一	一	一
	女	一	一	一	一	一	一
進歩賞ヲ受クル者	男	一	一	一	一	一	一
	女	一	一	一	一	一	一
精勤賞ヲ受クル者	男	一	一	一	一	一	一
	女	一	一	一	一	一	一
六ヶ年精勤者	男	一	一	一	一	一	一
	女	一	一	一	一	一	一
計	男	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二
	女	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二

		卒業生卒業後の志望	
		中學校	實業
第一學年	男	一	一
第二學年	男	一	一
第三學年	男	一	一
第四學年	男	一	一
第五學年	男	一	一
計	男	一	一
	女	一	一
計	男	一	一
	女	一	一

卒業生舊受持職員

第一學年 男 大森寅吉先生 (實業部御津尋常高等小學校)
 女 平井壽美枝先生 (市内新川)

第二學年 男 坂部しづ先生
 女 鈴木とゑの先生

第三學年 男 夏目 勉先生 (北設樂郡上津具尋常高等小學校)
 女 藤城しげを先生

第四學年 男 佐藤信之先生 (東春日井郡尾尋常高等小學校)
 女 大山太郎先生

第五學年 男 夏目 勉先生

大正10年3月卒業のしおり



木造講堂の扁額



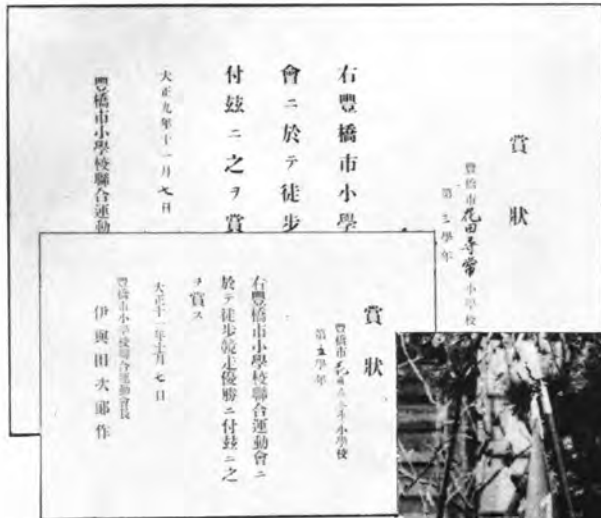
ヒナ祭り，女子児童
 大正期には「ヒナ祭り」「端午の節句」など，児童を中心とした学校行事が，盛んに行なわれた。

盛んになった学校行事・教科外活動

大正10年度（「学校沿革史」抄）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------------------------|
| 4・1 | 入学式 男87, 女76, 計163
野砲兵第21連隊1渡満兵1・5・6年男
敬送ス。 | 10・23 | 招魂祭 総代5・6年児童参拝ス |
| 4・2 | 始業式 | 10・30 | 午前8時ヨリ市内各小学校連合運動会
ヲナス。 |
| 5・5 | 端午節句会ヲ催シ男子部学芸会ヲナス | 10・31 | 天長節祝賀式举行。 |
| 5・15 | 岡崎師範学校主催ノ東海相模大会ニ選
手を派遣シ2等賞ヲ受ク。 | 11・13 | 市立高女運動会ニ於ケル女児童リレー
レースニ選手ヲ派遣ス。 |
| 5・22 | 四中主催ノ東三各小学校競技大会ニ選
手派遣ス | 11・20 | 岡崎新潮社主催 三河オリンピック大
会ニ相模選手ヲ派遣ス。 |
| 5・27 | 海軍記念日ニツキ第3時各学級ニテ訓
話ス | 11・27 | 下川第二小学校主催競技会ニ男女徒歩
競争ニ選手派遣ス。 |
| 6・10 | 時ノ記念日ニ関スル訓話ヲナス | 12・12 | 摂政宮殿下ヲ奉迎送ス（15日モ） |
| 6・11 | 市議員服部弥八氏ノ台湾視察談アリ | 12・18 | 本日ヨリ数日ニカケテ十五師団渡満兵
ノ敬送ス（児童総代） |
| 7・7 | 第4時限七夕祭ニ関スル話ヲナシ校庭
ニ飾付ヲナス | 12・24 | 第二学期終業式ヲ举行ス。 |
| 7・23 | 成績ヲ発表シテ明日ヨリ休暇トナル | 1・1 | 拝賀式举行 |
| 7・29 | 十六日ヨリ举行ノ水練会修了式ヲナス
入会 男105, 女40。 | 1・3 | 男子部同窓会総会 |
| 9・1 | 第2学期始業式ヲナス | 1・9 | 始業式ヲ校庭ニテ举行ス。 |
| 9・3 | 午前9時皇太子殿下御外遊帰朝奉祝式
举行
式後各学級神社参拝ス
夏休課題成績品展覧会ヲ開ク
午後7時ヨリ市内小学校4年以上児童
連合奉祝提灯行列ヲナス | 1・12 | 武徳殿ニ於テ開催中ノ衛生展覧会ヲ3
年以上児童観覧ス。 |
| 9・12 | 八尋校ニ於テおとぎ講演会ニ5年以上
児童聴講ス | 1・21 | 5年以上 東雲座へ軍事劇ヲ見ニ行ク |
| 9・14 | 東宮殿下ノ御西下ヲ6女児童奉迎送ス | 1・28 | 4年以上 駅附近男生, 六十連隊敬送ス |
| 10・7 | 1・2年ハ三輪山へ, 5・6年ハ長篠
古戦場へ校外教授ヲナス | 1・29 | 女子部同窓会総会 |
| 10・11 | 3・4年児童豊川へ郊外教授ヲナス | 2・5 | 高根小主催音楽会ニ5女児童出演ス |
| | | 2・9 | 山県有明公園葬ニツキ訓話後休業ス |
| | | 2・11 | 紀元節祝賀式ヲ行フ |
| | | 2・25 | 午前9時ヨリ女子部 同十時半ヨリ男
子部学芸会ヲナス |
| | | 3・10 | 陸軍記念日ニツキ西海大尉殿ノ講話ヲ
聞ク。 |
| | | 3・23 | 修業証書授与式举行ス。 |
| | | 3・24 | 第13回卒業証書授与式举行。 |

子どもの再発見を要求した大正期の教育は教科外の領域を発掘し発展させた。



連合運動會徒歩競争賞状

市内小學校連合運動會・對外競技

本校選手五種競技に總計34点を得て優勝旗を受ける(大8・11・2)

県立四中隆上運動會に於て400m競争に優勝旗を受ける(大8・10・26)



岡崎師範における東海相模小学生大会優勝(大11・5・14)



四中における東三五種競技大会優勝(大11・5・21)



大正12年(1923)

権原神宮拡張費献金

使丁室東へ井戸を新設する(5・4)

図画競技会(5・13)

関東大震災(9・1)

関東大震災義捐金発送する46円80銭(9・8)

大正13年(1924)

市内小学校4・5年生に「豊橋郷土史」を使用して郷土教育をはじめ(4)

校舎(2教室)を増築する。

尺貫法をメートル法に改める(7・1)

臨海教授 三谷海岸(女子) 大崎海岸(男子)
(7・27)

大正14年(1925)

花田小学校教育後援会設立される。

メートル法を採用した「尋常小学算術書」1・2年より使用開始(4)

全国中学校軍事教練実施配属将校を県下中学校に配置。

豊橋市教育会「羽田野佐可喜翁小伝」を編さんする。

羽田野敬雄翁遺墨展を市立図書館で3日間にわたり開催(・)

市内電車開通(12)

児童雑誌「赤い鳥」さかんに読まれる。

大正15年(1926)

青年訓練所を小学校に併置して授業開始する。

宝飯郡津田小学校罹災児童へ弔慰金増呈(9・9)

市制20周年記念(10・1)

昭和2年(1927)

聖上陛下豊橋に行幸各小学校児童八町練兵場にて御親閲を受ける(11・21)

二階建校舎を新築する(普通教室10・理科室、家庭室、職員室、応接室)

各学級座談会はじまる。出席約500名

青い目のアメリカ人形201名古屋に到着、展示会が開かれ各学校へ。

西駅できる。

優勝旗披露大運動会



優勝旗先頭に堂々の入場(大12)



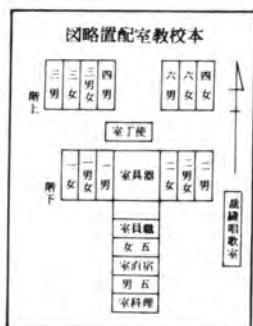
1着(大12)

大8・11・12 優勝旗受領祝賀運動会をはじめとして、各種競技に好成績を挙げた年には学校挙げて祝った。

優勝旗のかずかず(昭3)



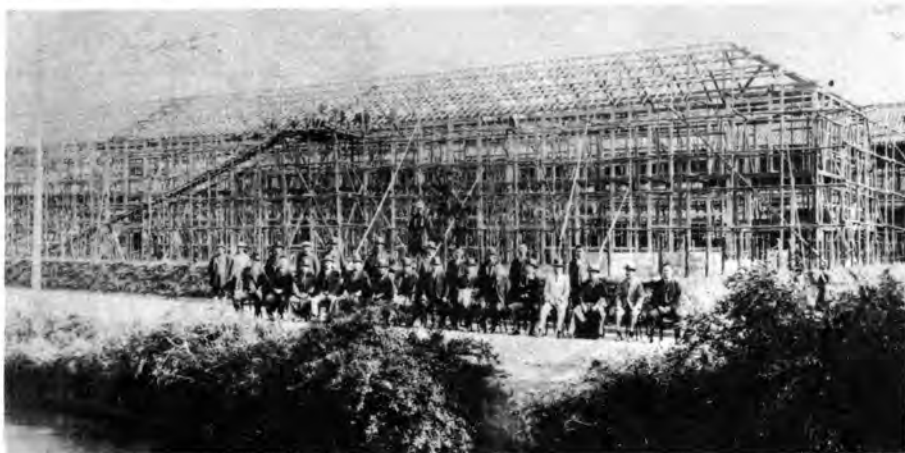
発展する校区・激増する児童



大正12年

大正13年校舎、牟呂用水側より

新築校舎上棟式 (昭2・4・12)



児童数の増加
羽根井の分離まで

大正 2年	372
大正 5年	470
大正10年	762
大正15年	1,216
昭和 7年	2,053

校区町別戸数 (大14・4)

羽根井	194	中央	257	百度	112
花中	168	羽田中	705	西羽田	88
野里	379	北郷	86	立花	91
合計 2,080					

校区字別戸数 (大14・4)

—「学校一覧表添付書類」より—

城海津	142	堀先	48	野添	69
西宿	66	牟呂海道	29	五丁	24
西宿前	63	手棒	36	流川	216
大山塚	139	長丁	1	斉藤	287
北新起	30	西郷	73	塞神	20
南新起	70	築地	27	中郷	90
稲場	133	十文字	6	八通	87
百北	46	野黒	196	小松	2
大塚	100	後田	23	合計	2,080



中大塚橋竣工検査 (昭2・6・30)

昭和3年 (1928)

米価暴騰 (9)

御大典奉祝校区運動会 (10・14)

昭和塾堂竣工

御真影奉戴式 奉安殿竣工式 (10・20)

ラジオ体操放送開始 (11・1)

昭和4年 (1929)

教員の俸給不払い減俸減首等全国各地におこる
(6・1)

「はえ取りデーを実施する」 (6・26)

防空演習 避難演習を行なう (7・15)

赤十字団旗披露式 (9・17)

羽田中消防組よりポンプ一式寄贈を受く (12
・6)

昭和5年 (1930)

豊橋市産業博覧会開催(3)

第19回豊橋市小学校連合
運動会、八町練兵場で挙
行 (本年度で廃止 6年よ
りは一般も参加市民大運
動会となる) (11)

昭和6年 (1931)

長山公園開演に出場する
(音楽) (7・20)

文部、大蔵、内務三省の
連合会議において小中学
校教員の初任給引下げ決
定 (9・2)

時報にサイレン使用はじ
める (9・21)

市制25周年記念式 (11・1)

昭和7年 (1932)

豊橋市教育会「郷土教育
資料」刊行 (2)

鉄筋コンクリート建講堂

を新築した。竣工式 (2・5)

本校児童代表放送するCK午後6時 (2・29)

郷土研究発表会 (2・27)

労作教育講習会 (3・15)

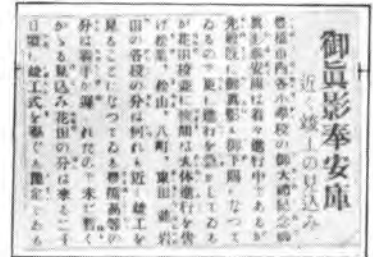
文部省欠食児童増加に対処し学校給食実施の趣
旨徹底方並びに学校給食臨時施設方法に関し訓
令 (9・1)

清川正二オリ

リンピック

背泳で優勝

する (9)



新朝報 (昭3・10・6)

製糸工場風景 (大正末期)



盛んであった少年野球



全国大会出場のための川越（大毎）選手を囲んでの強化練習

（昭4・8）

藤井寺球場での全国大会出場チーム（昭5・8）



豊橋少年野球協会

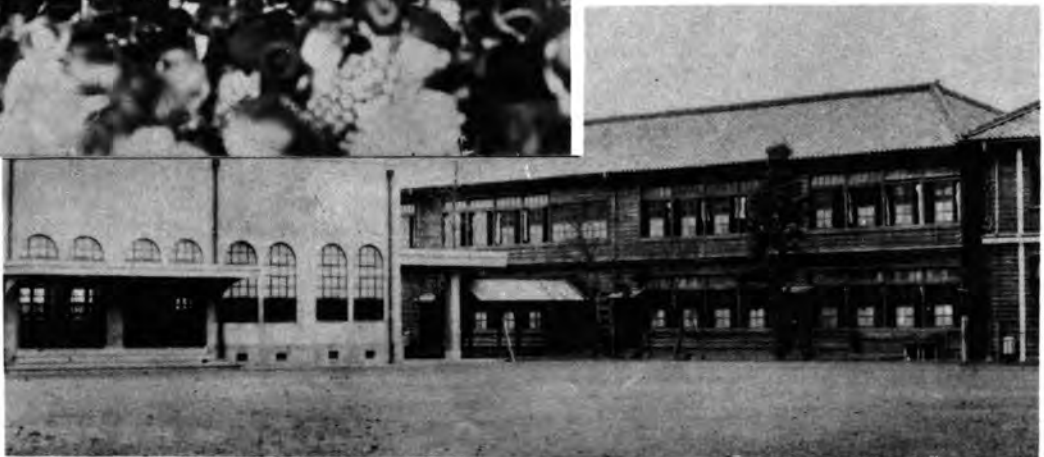
大10・5 隣郡も併せて協会設立当地方は非常に盛んで準決勝優勝戦にまで進出することも多かった。



講堂竣工記念学芸会
における琴の弾奏

鉄筋講堂竣工

昭7・2・5



奉安殿竣工記念 (昭和3年10月20日)



通知表の今昔 (その1)

・ 明治期
点数制，甲乙丙丁戊など5段階評価がとられた。

・ 大正・昭和期
5段階制であったが
実際は甲乙丙の3段階であった。
はじめ学年毎につくられていたが，昭和になると「教育手牒」となって全学年を通して1冊となった。

・ 国民学校
優良可の3段階となる。
全期をとおして甲や優を何人でもつけてよい「絶対評価」が多かった。

